

# 耳よりな話

N.59

平成 28 年 9 月 16 日発行

(労働・社会保険ニュース)

## 阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: [abenenkin@ybb.ne.jp](mailto:abenenkin@ybb.ne.jp)

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

## ◎国勢調査で初の人口減少

平成 27 年に恒例の 5 年ごとの国勢調査が行われ、その結果が総務省より発表されました。それに拠りますと、総人口は 1 億 2,711 万人で 5 年前の前回調査に比べ、94 万 7 千人 (0.8%) 減少しました。国勢調査で総人口が減るのは、大正 9 年の調査開始以来 初めてです。

東京・神奈川・埼玉・千葉の東京圏と愛知・滋賀・福岡・沖縄の 8 都県が増加しました。大阪府は 68 年ぶりに減少しました。最大減少県は秋田、福島、青森、高知、山形の順です。東京の人口は 1,351 万人で東京圏は 3,613 万人となりそれぞれ増加しました。

市区町村の増減をみて見ると、

順位	(増加)			(減少)		
	市町村	人口 千人 H27	増加数 人 H22~27	市町村	人口 千人 H27	減少数 人 H22~27
1	東京区部	9,272,565	326,870	北九州市	961,815	-15,031
2	福岡市	1,538,510	74,767	長崎市	429,644	-14,122
3	川崎市	1,475,300	49,788	石巻市	147,236	-13,590
4	さいたま市	1,264,253	41,819	南相馬市	57,733	-13,145
5	札幌市	1,953,784	40,239	函館市	266,117	-13,010
6	横浜市	3,726,167	37,394	下関市	268,617	-12,330

また、子供の目を前に発表された 14 歳以下の子供の数は昨年に比べ 15 万人減少しました。これは 35 年連続の減少とのことで、少子高齢化が一層顕著になっているようです。日本の人口減少問題も深刻な事態になりそうです。

## 【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。



前号で江戸時代の貨幣価値については、1両が10万円、1分が20円と換算して小説を読んだり時代劇を鑑賞すれば、その生活の様子がより身近に感じる事ができることを述べました。

当時の大名、武士の収入や日常生活をどのようなものだったでしょうか。

当時は全て米中心の経済でした。貨幣は通用したが、裏付けは全て米価が基準でした。先ず武士は与えられた知行地からの米の生産高、または定期的に支給される蔵米を換金して収入としていました。

米価は豊作、凶作に左右され一定ではありませんでしたが、江戸中期、幕府の蔵米支給についての「定め書」によれば、米100俵の値段が35両となっています。当時は1俵が3.5斗でした。(明治維新後は1俵が4斗=60kgに決められました)

従って、

100俵=350斗=35石=35両となり、1石=1両となります。前述のように1両=100,000円となります。

1石=10斗=100升なので、1升=1,000円と言うこととなります。

米価については、現在ではコシヒカリ級の米でも1升600円前後の安い価格で買うことが出来ますが、当時は災害、水不足、蝗害、農薬の不足などで凶作となり米不足となる悲惨な年も頻繁にありました。

米の安定的生産のため、農業改良、新田開発、用水路の整備に熱心に取り組み各地でいろいろな工夫がなされました。

100万人都市と言われた江戸の糞便は近郷農家の有効な肥料となり、循環型社会を作りました。

### \*100万人都市の根拠

8代将軍吉宗時代に江戸の町人・寺院の人口調査をした結果、約50万人でした。武士階級の調査は行っていませんが、全国各藩の江戸在府武士・使用人を概算すると約50万人と推定した結果により合計100万人と言われました。

「切米」と呼ばれる本給の他に「扶持米」という手当が別途支給されました。

また、支給基準は1人が1日に玄米5合を食べるとして支給されました。

1人扶持=1日玄米5合=年間1石8斗の支給となります。

これに基づき、武士の収入を計算すると、

(例 1) 300 石の知行地を与えられた旗本の場合、

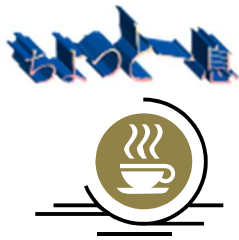
4 公 6 民とした場合、120 石=12,000,000 円の収入となります。

(例 2) 300 俵・2 人扶持の旗本の場合

300 俵=105 石=10,500,000 円

2 人扶持=3.6 石=360,000 円

合計 10,860,000 円の収入となります。(以下次号)



第一生命が毎年「サラリーマン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

第二十二回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより

やってみろ 結果良ければ俺の指示

サラリ・マン

「まだ月曜」「もう月曜」の 繰り返し

一平

大器すぎ 晩成もすぎ 寺めぐり

超人

守り抜く 言った夫を 守ってる

養子

出社して 休みの疲れ 癒す。パパ

めとちゃん